ぴーちく ぱーちく

第91号

2018.11.26 発行

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15
ぷりんせす明野１Ｆ
編集･発行 ＮＰＯ法人自立支援センターたかつき
TEL:072-672-1294 FAX:072-668-3210
MAIL:wffcj830@yahoo.co.jp
URL: http://ciltakatuki.web.fc2.com/

阿武野高校で講演をしてきました

11/8（木）阿武野高校の分散会に講師として呼ばれ、行ってきました。
2クラス45分話すのですが、1クラス15人でいつものピアカンみたいな雰囲気にしました。初めのクラスの女子がめちゃしっかりしていて、福祉の活動をしたいと話していたので、重度訪問介護研修を受講してくれるのではないかと思いました。孫みたいな年の人たちに話すのは難しいです。
他の先生から校長先生からの手紙を受け取って、何だろうと思って帰って読んだら、昔、森修さんの介助をしていた男性が今は阿武野高校の校長先生になっていて、今日は用事でどうしてもあいさつ出来ないということでわざわざ手紙を書いてくれたのです。嬉しかったです。（まー）

私は、生い立ちから将来の夢を話していき、質問タイムを設けるという形を取りました。講演中はみなさん耳を傾け、真剣にメモを取られていましたが、質問タイムに入ると、しーん… 先生曰く、「質問は前もって考えてるんですけどね。」どうもいざとなると口が重くなるみたいです。
そりゃー初めて会った人に質問なんて無理な話やわな。わかるわかる～！暫く沈黙が続き、先生も私も困ってシマウマ状態。唯一出た質問は「好きな俳優さんは誰ですか？」
は、俳優さん… と心の中でまたシマウマになってしまった私。
俳優になるかはわからないけど、大いに慎吾ファンをアピールしておきましたｗ
今回同行してくれたスタッフさんがスマホを操作するところを見てもらったらと提案してくださり、LINEを送信するというデモンストレーションをしました。スマホを出してもらって、普段のように地べたに座って足の指でスマホを操作すると、おお～と今日一番の食いつきと反応が返ってきました。一時はどうなるかと思ったけど、なんとか授業を終えることが出来、ホッとしました。目的である交流は私のコミュ力不足のため果たせなかったけど、障害については理解していただけたのではないかと思います。
あと、身近に障がいを持っている人がいないから関わることもないそうだし、ましてや私のような障がいの人はポケモンでいったらレアキャラゲットだぜ！って感じなので、余計にどう接したらいいのか、何を喋ったらいいのか、わからなかったのだろうなぁと思いました。
※ 面白くふざけて書いていますが、授業はいたって真面目でした！（みか）

阪大の学園祭に行ってきました！

ちょっとしたレポをお届けします。当センターの介助者には、学生さんが多く登録してくれていて、中でも大阪大学ボランティアサークル「フロンティア」から来てくれている人が多くいます。

日々お世話になっているということもあり、先日阪大の学園祭に椿本が行きました。その日の介助者はフロンティアの人のため、一人で出歩くのが好きな私は介助者と阪大豊中キャンパスの最寄り駅、阪急石橋駅で待ち合わせをし、学祭に乱入！

いの一番にフロンティアが出していた模擬店のシュウマイを買い、実食。猫舌の私には少し熱かったけど、熱いながら食べ、これまたうまかった。そのあとはほかの模擬店でチヂミ、ラクダ肉の焼き肉、焼きそばなど食べ歩き、おなかを満たしつつ学祭を満喫した。

もう一つ私が楽しみにしていたのは、毎年フロンティアがやっている手話劇。手話をしながら劇をするというものだ。今年の演目は「塔の上のラプンツェル」。私はストーリー自体知らなかったが、皆さん迫真の演技で面白く、楽しませてもらった。

手話劇を見た後は、美味しかったエビシュウマイをもう一度食べ、今度は介助者と阪大で別れ、高槻まで一人旅気分で帰ってきた。

エビシュウマイで始まり、エビシュウマイで終わった私の阪大学祭レポでした（笑）

星乃珈琲で昼食を！

久しぶりにみんなで星乃珈琲にてランチ。
美味しい料理を食べながら、楽しい時間を過ごしました。
雰囲気も料理も　星３つ★★★☆☆

美香

あら、ふぉ～のコーナー、今月は椿本のターンです。
先月の大同さんの話も暗かったけど、今回の私の話も暗いです。「5・6歳博紀の人生暗かった～、博紀の夢は夜開く～(夜は寝てたっつうの（笑）　ってか、古っ！)

前回どこまで書いたっけなー。そうそう、保育所見学に行って、その初日に給食を食べさせてもらえて、園長先生にこれからも食べさせてと言ったら、園児でないから無理と断られた。それなら園児にしておくれと保育所入所闘争が始まった。

闘争とあえて書いたのは、私はいわゆる被差別部落と呼ばれる土地にうまれた。

被差別部落とは何かを書くと長くなるので割愛させてもらう(気になる方は調べるか、フォーラム椿本までお問い合わせを…(笑))。部落解放同盟という組織が全国にあり、母はその運動に関わっていた。その解放同盟の人たちの後押し(交渉してくれた)のおかげもあり、見事5歳のころ保育所入園を果たした。解放運動の話は後にも出てくると思うが、私は運動の中で育ったといっても過言ではない。

さてさて、願って果たした保育所入園。普通ならみんなと遊んだり楽しい思い出の場所だが、私にとって暗黒の始まりだった。私の入園にあたり、私専属の先生(私の介助してくれる先生)が来たのだが、その先生は当時保母になりたて。もちろん時代的にも障害者に理解もない。親と離れた経験がない子が親と離れると泣く。当然私もそのクチだった。泣いたら、なだめるでもなく、押し入れやトイレに閉じ込めたり、時には

職員室に連れていかれ、「泣いてる声をみんなに聞いてもらい」と園内放送用のマイクを向けられたこともあった。(電源は入ってなかったのは救いだ)

たまに泣かずに行ったこともあるらしく、他の子が「今日、博紀君なんで泣いてないの？」と先生に聞くと、ほめるどころか、「知らん」と言い放ったのを、私を預け帰っていく母が聞いていたらしい。

だから、地域で育てたいと思い保育所に入れてくれた母に申し訳ないが、私の保育所時代は暗黒期だった。

さてさて、今回の博紀のお話はここまでだよー。次回はー、

- 就学前検診のからくり
- 小学校はパラダイス

などなどお届けします。では次回まで、ハイバイキーン、はーひふーへほー！

（写真は、親族の結婚式にて母と）

《文・写真提供：椿本博紀》

自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

・**重度訪問介護従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。

・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。

・**自立生活プログラム(ＩＬＰ)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。

・**自立体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。

・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。

・**障がい者　自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか?

その他　お花見、ビアガーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！

～有給休暇付与のお知らせ～

自立支援センターたかつきでは9月までの1年で勤務日数を集計して、所定の日数以上稼働しておられる方に有給休暇が使えるようにしています。

今月の給与明細の「有給休暇日数」欄をお確かめください。付与された有給は2年間のうちにご利用ください。登録ヘルパーさんでも有休を使いやすいようにしていますので、給与明細を確認の上、遠慮なく係までお申し出ください。

担当：中島

12月のフォーラムの予定

毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽にあそびに来て下さい♪

クラフト体験は12月6日　はじめての方無料

（2回目以降500円）

◎お問い合わせは自立フォーラムまで

ＴＥＬ：０７２-６７２－８５３２